# 循環器専門医プログラム

**プログラム責任者**
循環器内科学講座
渡邊　博之 教授

| | |
|---|---|
| 専門研修担当者連絡先 | 鈴木　智人　助教<br>TEL.018-884-6110　FAX.018-836-2612<br>E-mail　tom.suzuki@med.akita-u.ac.jp<br>HP　https://www.med.akita-u.ac.jp/~naika2/ |

## プログラムの特徴と説明

循環器内科では心臓病や全身の血管病の診断・治療、さらにそれら心血管病の予防医療を行っています。そのため高血圧内科・動脈硬化内科の分野から救急医療・循環器緩和医療まで幅広い領域の診療を担当しています。診療チームはおもにnon-invasive cardiologyチームとinvasive cardiologyチームで構成され、その詳細を以下に示します。

【non-invasive cardiologyチーム】
循環器疾患予防診療（高血圧・脂質異常診療など）、心臓リハビリ、緩和医療や心臓超音波検査を担当し、それらの分野のスペシャリストを養成、循環器学会やその関連学会認定専門医資格取得を目指します。

【invasive cardiologyチーム】
PCI、経カテーテル大動脈弁植え込み術、肺塞栓などの心臓カテーテル検査・治療や不整脈検査・アブレーションさらにペースメーカー/ICD植え込み治療を担当します。急性心筋梗塞や致死性不整脈治療などのスペシャリストを養成し、循環器学会やその関連学会の認定専門医資格取得を目指します。

## アピールポイント

上記チームや専門分野は自由に選択できます。さらに本人の希望に従い、チーム間を相互に行き来し総合的な循環器診療技術を身につけることも可能です。また、臨床経験から生まれた疑問をもフィードバックすることで論理的思考を兼ね備えた臨床医を育成します。さらに、女性医師の出産・育児や男性医師であってもライフスタイルに合わせた業務体系の選択が可能です。このように多彩な選択肢があることが循環器内科診療、そして本プログラムの特徴です。

## 専門医、指導医、出身地、施設認定、関連施設 など

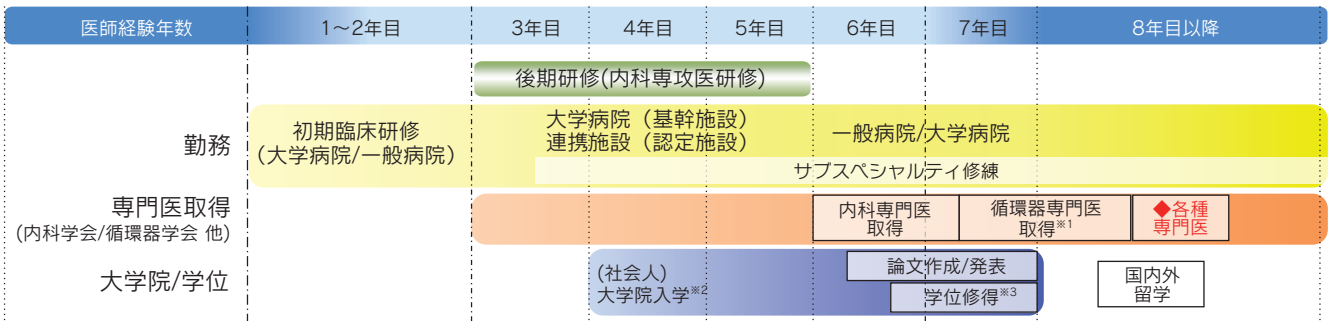
**■専門医**
内科認定医・専門医：25名、循環器専門医：18名、超音波専門医：3名、心血管インターベンション認定医・専門医：9名、不整脈心電学会専門医：2名、高血圧専門医指導医：3名

**■施設認定**
日本循環器学会認定施設、日本超音波学会認定施設、日本心血管インターベンション学会認定施設、日本高血圧学会認定施設、日本不整脈心電学会認定施設、日本動脈硬化学会認定施設

**■出身大学**
秋田大学、自治医科大学、山形大学、昭和大学、金沢医科大学など

**■関連施設**
秋田厚生医療センター、秋田赤十字病院、市立秋田総合病院、北秋田市民病院、由利組合総合病院、能代厚生医療センター、能代山本医師会病院、市立角館総合病院、大曲厚生医療センター、本荘第一病院、湖東厚生病院、藤原記念病院、雄勝中央病院、市立横手病院、市立大森病院、大館市立総合病院、市立扇田病院など

## ■取得までのキャリアパス




※1 循環器専門医受験資格（2022年度以降）　2020-2023年は移行措置
①新制度内科専門医を取得している
②循環器学会会員歴3年以上
③循環器J-OSLERシステムにおける循環器領域の新制度研修を修了

※2 大学院入学年は自由に選択可能

※3 学位取得には（甲）課程博士と（乙）論文博士があり、選択可能

**◆主要なサブスペシャルティ**
**循環器専門医、超音波専門医、**
**心血管インターベンション認定医／専門医、**
**不整脈専門医、高血圧専門医、動脈硬化専門医、**
**心臓リハビリテーション指導士／認定医　など**